

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ドリームズ・21st 千代田校				公表日	2025年3月28日
サービス種別		放課後等デイサービス					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	お子様の活動のためのスペース（個別の部屋等）が十分に確保されているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り家具は隅に寄せて、スペースを作るようにしている。</li> <li>・学習する際に机代わりにしているテーブルだけでは対応できない子もいるため、その都度机やいすを移動している。</li> <li>・仕切りや布などで物理的に個人のスペースを意識できるように工夫する。</li> <li>・机、ロッカー、書棚等の配置を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理棚や整理箱を設置し、スペース確保していきたい。</li> </ul>	
	2	職員の人数は、お子様の人数に対して適切か。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの利用状況に応じて、非常勤勤務の方々の出勤を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎などでの関係で、施設内のスタッフが極端に少ない時間があるので、そういう時間にスタッフが施設内にいられるように工夫して人員を配置する。</li> </ul>	
	3	教室内はすべてのお子様を想定し、バリアフリー化などの配慮や十分な安全対策がなされているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・床マットがずれたりしている時、すぐ修繕するようにしている。</li> </ul>	
	4	事務所内は常に衛生的・清潔な状態が保たれているか。	○				
業務改善	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HUGや電話を使って保護者との連携を高めている。</li> </ul>		
	6	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	7	お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されているか。	○				

適切な支援の提供	8	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援に関わる職員が共通理解の下で、お子様の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	9	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	10	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	11	お子様の活動が固定化しないようプログラムが工夫されているか。	○	・スタッフ間で相談して工夫している。		
	12	活動内容についてスタッフに共有されているか。	○			
	13	お子様の活動意欲が高まるような創意工夫が行われているか。	○			
	14	お子様の自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	15	お子様個々に対して学習支援などが細かく行われているか。	○	・活動の中に「学習タイム」を設けスタッフが寄り添って指導している。 ・個人に向けた学習プリント等を用意している。		
	16	お子様の状況に応じた個別活動や集団活動が行われているか。	○			
	17	支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	18	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	関係機関	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子様の状況をよく理解した者が参画しているか。	○		

こ や 保 護 者 と の 連 携	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、お子様の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	21	お子様の状況に応じて、学校等を始め、関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
保 護 者 へ の 説 明 等	22	運営規程、利用者負担等について説明を行っているか。	○			
	23	保護者様との意思の疎通や情報伝達のための手段であるハグシステムについて、十分な説明がなされているか。	○			
	24	ハグシステム等を通じ、日頃からお子様の状況を保護者様と伝え合い、支援の状況・課題について共通理解ができているか。	○			
	25	個別支援計画を作成する際には、お子様や保護者様の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子様や家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	26	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から個別支援計画の同意を得ているか。	○			
	27	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	28	お子様や保護者様からの相談や申し入れについて、対応体制を整備し、それを保護者様に周知・説明を行い、相談や申し入れがあった場合は円滑に対応しているか。	○			
	29	ハグシステムやホームページ等で、活動概要や連絡体制等の情報をお子様や保護者様に対して定期的又は必要に応じて発信しているか。	○			
30	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				

非常時等の対応	31	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	32	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	33	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	34	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○			